

# 白十字病院 だより

2022. 春発行 Vol.01



## 巻頭特集

脳卒中センター長 / 心臓・弁膜症センター長のご紹介  
脳と心を支える2つの新設センター

## TOPIC

世界初のCT機器導入！

AI技術を活用し、一貫した結果をもたらす先進機器

ユマニチュード®

全職員で取り組む“優しい認知症ケア”

白十字病院のSDGs

わたしたちの町のホームドクター

白十字リハビリテーション病院情報

詳しい病院情報ホームページはこちら

<https://www.fukuoka.hakujyujikai.or.jp/>



## 「今までとこれから」

**白** 十字病院は1982年(昭和57年)2月に開院、現在40周年を迎えています。この間、医療の質の高度化と経営環境の改善に努めて参りましたが、民間病院にとっては苦難の時代の連続でありました。しかし、福岡大学、九州大学から優秀な医師の派遣と力強いご指導を頂き、地元福岡市、糸島市医師会のご支援、200を超える連携診療所の先生方からのお支えで今日の白十字病院があります。

昨年、病院を二つに分院化し、現在の地に地域の急性期ニーズに対応する282床の新病院と、急性期後の回復と在宅高齢者を支える160床の白十字リハビリテーション病院(今夏、増築予定)として運営いたしました。福岡市西部も急速な高齢化が進行しています。高齢者特有の疾病の増加に対し、高度でありながらも低侵襲の医療を提供したいと思えます。例えば、増加する脳血管障害に対し、カテーテルを用いた脳動脈瘤治療や、脳血管に詰まった血栓を除去する血栓回収療法、また脳出血に對して神経内視鏡を用いた低侵襲血腫除去術を行い、早期のリハビリ開始を可能とする「脳卒中センター」、高齢や合併症のため大開胸手術の適応外とされてきた心臓弁膜症患



社会医療法人財団白十字会

理事長 富永 雅也

者さんに対し、小切開の低侵襲手術でありながら精緻で完成度の高い手術(MICS手術)を得意とする「心臓・弁膜症センター」の二つのセンターを開設し、今年度からは、福岡大学病院脳神経外科前教授の井上センター長、前長崎大学病院心臓血管外科前教授の江石センター長を迎え、さらに地域の皆様のお力添えになることだと確信しております。

また、地域包括ケア病棟では、地域の訪問診療の先生方を後方支援する病院としての責務を果たして参りたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが2年に亘り続いております。終息の見通しが未だ厳しい中、白十字病院は、目の前のやるべきことを一つずつやり続けることが大切だと考えております。

最後になりましたが、白十字病院の40年の歴史を支えて頂きました全ての皆様に感謝を申し上げます。

## 「新しいステージ」

皆様におかれましては、コロナ禍にあり、大変な思いをされながら毎日をお過ごしのことと思います。2022年度は、白十字病院新築移転2目を迎えます。昨年の4月に移転した直後より、職員一同、感染防護体制を急整備しました。その上で、この1年間で、多くのコロナ患者さんを受け入れてきました。私は、院内クラスターを発生させず、途絶えることなく地域医療に貢献してきた職員ひとり一人の責任と自覚を誇らしく思っています。

厳しい状況の中、併せて病院機能アップに努力して参りました。白十字病院は、高齢者特有の疾病の増加に対して、高度でありながらも、患者さんにとって負担の少ない医療を提供することに力を注いでおります。今年度、特筆すべきことは、脳卒中センターに井上 亨センター長(前福岡大学脳神経外科教授)と高度画像センターに宇都宮英綱先生(前東京大学神経放射線科教授)、更に心臓・弁膜症センターに江石清行センター長(前長崎大学心臓血管外科教授)を迎えたことです。脳卒中センターでは、本年10月にSCU(脳卒中ケアユニット)を開設し、



社会医療法人財団白十字会  
白十字病院

病院長 瀧野 泰秀

更に質の高い、予後の良い脳卒中治療を提供出来るよう準備を行っております。心臓・弁膜症センターでは、高齢の患者さんにも小さい創(きず)でありながら精緻で完成度の高い優しい手術を提供しています。これらのセンター機能が一層充実しつつあり、白十字病院は新たなステージに入ろうとしています。

病院がステージアップすることに併せて、この院外広報誌「白十字病院だより」もnew design(新装)致します。「いくら素晴らしいものを作っても、伝えなければ、無いのと同じ」という、スティーブ・ジョブズの言葉に倣い、当院の「いいもの」を伝えることに力を入れることとしました。

新型コロナウイルス感染症パンデミックやロシアウクライナ侵攻という世界的、歴史的異常事態の日々が続いています。「異常が日常」の毎日となっています。今年こそ、皆様が、健康で安心して晴れ晴れと過ごせる日常が戻ることを心より祈念しております。

## 変異していくコロナに対応するために

皆さんこんにちは！白十字病院コロナ病棟医長の猪島尚子です。呼吸器内科医として2021年4月から九州大学呼吸器内科より派遣されてきました。恥ずかしながら白十字病院で勤務するまでコロナ診療をしたことはありませんでした。

昨年5月から本格的に1病棟をつがして15床のコロナ病棟が完成し、軽症から中等症まで対応する診療を開始しました。最初は手探りでコロナに怯えながら診療していましたが、他部署も含めて積極的に協力し、安定して患者さんを診る体制が整いました。

また、常にアンテナをはりめぐらせて新しい治療や情報を取り入れ、チームとしてブラッシュアップをしてきましたが、今後どのようにコロナ自体が変異して、新たな症状が出現してくるかは予想できません。インフルエンザに代わるメジャーなウイルス性疾患となったコロナ診療に対して、今後も地域の中核医療機関である白十字病院としてしっかりと対応を続けていきます。

呼吸器内科部長 猪島 尚子

## 多職種が一丸となって

当病棟では、感染状況に柔軟に対応した設備改修を行い、感染予防のための徹底したゾーニングを行っています。看護部では、感染症対策も教育されたスタッフを配置しており、他職種で毎日カンファレンスを行い、チームで最善の医療を提供できるように取り組んでいます。遠方の患者さんも多く、不安がある中ご家族の力は偉大です。当病棟でもオンライン面会を積極的に行い、患者さん・ご家族から喜ばれています。様々な制限がある中でも、患者さんに寄り添う看護ができるように心がけ、患者さんが笑顔で退院されるときにはやりがいを感じています。

## 新型コロナウイルス感染症病棟の今

## “コロナ”と共に

2019年末に突如世界を襲った新型コロナウイルス感染症(COVID-19)。そこから2年半が経ち、未だ全世界が感染症の危機に晒されている。当院でもコロナ患者を受け入れ、多職種でチームを組み、コロナと闘っています。

## 看護部

コロナウイルスに感染すると、発熱、咳、倦怠感等の症状を認め、中には酸素投与が必要になり当院に入院される方がおられます。当院に入院された患者さんは病状が回復するまで一定期間の安静を余儀なくされ、その期間に心身機能の低下等の恐れがあります。当院ではリハビリテーションスタッフがPPE(個人用防護具)を装着して、運動、認知機能検査、嚥下評価等を行い、患者さんが一日も早い社会復帰が出来るよう支援しております。

## リハビリテーション部



面会することができないため、オンラインにてご家族と面会をしています。



24時間体制で専門的な診療を

## 心臓・弁膜症センター

弁膜症の専門家チームで「安全で低侵襲、かつ質の高い手術」をモットーにMICS手術をはじめとした、高度かつ低侵襲の医療を提供します。スタッフ一同で優しさを持って接し、親身に向き合い、病気に立ち向かい、信頼される関係を築いていけるよう心掛けて参ります。

(写真)最新の4K3Dマイクログラフで卵大の傷から精緻な手術を行っています



24時間体制で緊急の脳卒中に対応

## 脳卒中センター

脳卒中は時間との戦いです。当院の脳卒中センターは迅速かつ高度な医療を提供するため、様々な取り組みを行っています。脳神経内科医および脳神経外科医と共に24時間オンコール体制で緊急の脳卒中に対応します。地域の先生方や救急隊から患者さんのスムーズな受け入れを行っています。

**白** 十字病院では新病院の開院に合わせ、心臓病は命を左右する重大な病気ですが、健康に生活できる健康寿命を制限してしまう病気でもあります。特に、心臓内の血液の流れを制御する弁の機能が異常をきたす心臓弁膜症が大変増えてきています。弁膜症は加齢による身体の衰えと同様の症状を起こし、外出を控える家の中でじっとしていると、症状を感じなくなるため、診断が遅れたり、治療のタイミングを逃してしまふ危険があります。心臓弁膜症は他のがんなどの病気に比べると適切な治療で健康な生活を取り戻すことができる良性的病気の病気です。

私は四十年間にわたり弁膜症をライフワークとして最先端の心臓手術に取り組みしてきました。本年度より、高い知識と技術力をもった専門家が集まった白十字病院の心臓・弁膜症センター長に就任し、今までの経験を生かして、皆様のお役に立ちたいと考えています。よろしくお願ひします。

## 「弁膜症の専門家チームで貢献します」



心臓・弁膜症センター長  
長崎大学医学部  
心臓血管外科学講座 前教授  
**江石 清行**

【専門医・認定医】  
弁膜症治療のガイドライン（2020年最新版）監修  
日本胸外科学会 指導医 元理事  
日本心臓血管外科学会 研修指導者 指導員 評議員  
日本外科学会 指導医  
日本循環器学会 評議員  
日本心臓病学会 評議員  
日本冠動脈外科学会 評議員  
日本低侵襲心臓手術学会 評議員

【所属】  
国立千葉大学医学部 専攻  
東京女子医科大学日本心臓血管病研究所 入局  
近畿大学 脳神経外科 Resident  
国立循環器病センター 心臓血管外科  
岩手医科大学 3次外科助教授 循環器病センター  
長崎大学医学部 心臓血管外科学講座 教授  
長崎大学 名誉教授  
東京女子医科大学 客員教授  
福岡大学 客員教授

【趣味】  
登山・釣り・読書



脳卒中センター長  
福岡大学医学部脳神経外科 前教授  
**井上 亨**

【専門医・認定医】  
日本脳神経科学会 専門医  
日本脳卒中学会 専門医  
日本神経外科学会 認定医  
日本脳卒中の外科学会 技術指導員

【所属】  
1981年 九州大学医学部脳神経外科入局  
1987年 米岡フクリダ脳神経外科留学  
1989年 九州大学医学部博士号  
1992年 九州大学医学部脳神経外科  
《専攻医長・外来医長》  
1995年 国立病院九州医療センター 脳神経外科医長  
2001年 国立病院九州医療センター 脳神経外科医長  
2008年 福岡大学医学部脳神経外科教授 脳血管センター長  
2011年 福岡大学病院 脳神経外科主任  
2015年 福岡大学病院 脳神経外科主任  
2022年 白十字病院 脳卒中センター長兼任

【趣味】  
テニス・ゴルフ・ワイン

## 「チームで治す脳卒中」

脳 卒中センターを開設して一年が経ち、本年度から白十字病院脳卒中センター長として就任する運びとなりました。

当センターでは、脳・血管内科、脳神経外科、脳血管内治療科の各ドクターと多職種がチームを作り、24時間オンコール体制で脳卒中に対応します。

術後早期から専門的リハビリテーションを開始し急性期を退院した後も、白十字リハビリテーション病院と在宅事業部が連携して、治療を途切れることなくスムーズに行うことで脳卒中患者さんの早期社会復帰を目指します。

また今秋、西区では初めてであるSOC（脳卒中治療室）病棟も開設予定です。このSOCで集中的に治療することで、死亡率の低下、在院期間の短縮、自宅退院率の増加などを日常生活動作（ADL）と生活の質（QOL）の改善を図ることができると、西区・糸島地区での脳卒中医療に貢献できると考えています。

動機、息切れなどの症状があったら気軽に検査

**弁膜症スクリーニング外来**

弁膜症でお困りの方や検査目的の方など様々なシチュエーションが存在すると思われがちですが、今全てに迅速かつ丁寧な診療を行います。電話予約だけで簡単に心エコー等の検査を行い、専門医が正確な診断、治療方針の決定を行います。

■紹介状をお持ちの方:0120-19-8912(フリーダイヤル)  
■直接来院の方:092-834-2507(受付時間)

心臓カテーテル検査/心臓血管内科

**脳・血管内科** (医師:5名)  
脳梗塞に対する薬物治療のエキスパート

**脳神経外科** (医師:5名)  
最新機器を導入した脳神経外科手術

**脳血管内治療科** (医師:6名)  
切らずに治す脳神経外科手術 (カテーテル治療)

ほぼすべての脳疾患に対応

**脳卒中 ス克蘭ブル体制**

脳梗塞に対するtPAや血栓回収療法などの最新治療法に迅速に対応できるように24時間体制で診療をおこなっています。

急性期からの積極的なリハビリテーションおよび白十字リハビリテーション病院との密な連携

320CT、3T-MRIなど最新の診断装置を駆使



白十字グループの理念である「患者さんが1日も早く社会に復帰されること」そして「地域社会の一員として時代に即した社会貢献を目指すこと」を実現するための取り組みとSDGsの17の目標を結び、わたくしたちがどのような形でSDGsに関わっているのかをご紹介します。

3 すべての人に健康と福祉を

3. すべての人に健康と福祉を

当院で推奨する『低侵襲治療』

**低侵襲治療**とは、なるべく身体に傷をつけずに行う内視鏡やカテーテル治療です。白十字病院では、様々な診療科が低侵襲治療を行っています。脳神経領域では脳神経外科と脳血管内科が連携し、脳血管内治療科として脳カテーテル治療を行っています。

当院の脳血管内治療の特徴としては、九州でも数少ない、最新の血管造影装置を手術室に置いた「ハイブリッド手術室」で治療を行っていることです。手術室内での治療であるため、清潔な環境下で安心して治療を行うことができます。これにより通常の脳動脈瘤や頸動脈狭窄、急性脳梗塞の治療のみならず、直達手術（開頭/内視鏡手術）とカテーテル治療を併用した高度な治療も行うことができます。また、当院では脳動脈瘤に対するコイルを使わない「フローダイバーター」治療や、頸動脈狭窄症に対する脳梗塞リスクを抑えた「CASPERステント」治療な

どの先端治療を行うことができます。新病院に移転し、これまで約100名の方に治療を行うことができました。これからも、ハイブリッド手術室での安全で有効な最新の脳血管内治療を患者さんに届けることができよう、鋭意努力して参ります。



ハイブリッド手術室



～増え続ける救急医療へのニーズに対応～

世界初のCT機器導入

先進のオートマティックテクノロジーでCT検査をサポート

白十字病院の救急医療は、年間約4,000台の救急車を受け入れており、救急医療へのニーズに対応するため、救急部門のCTとして新たに2022年4月世界第一号機として、キャノンメディカルシステムの最新機種である、80列CT「Aquilion Serve」を導入しました。

Aquilion Serveは、高精細画像と検査の自動化によって、増え続ける救急患者への迅速な対応と適切な処置を可能にしていきます。

救急部門の迅速検査に対応するAquilion Serve

Aquilion Serveは高精細・低被ばく技術と自動化技術で、救急撮影などでの迅速な検査を支援します。例えば、MPR画像や3D画像を作成する手間を省くことが可能で、すぐに画像が確認できます。救急でも技師の画像処理を待たずに医師が結果を

参照できるので、素早く処理に当たれることはメリットになると考えています。

地域医療支援病院として

さらに期待されるのが主に急性期脳梗塞に対する対応です。福岡市西区、糸島市では年間1,000件の脳卒中患者が発生し、そのうち、当院では約400件に対応しています。検査後は、ハイブリッド手術室など直達手術や血管内治療に対応できる最新の設備を整えているため、さまざまな脳卒中治療が行えるようになりました。

Aquilion Serveが新たに導入された事により、急性期脳梗塞に迅速に対応でき、適切な処置を提供することで、地域の医療機関との連携、協働体制を構築し、より地域を支える「地域医療支援病院」として礎を築いていきます。



ガントりに搭載されたタッチパネル

世界初はここがスゴイ！！

- 救急部門の迅速検査に対応できる
- 被ばく低減による患者さんの負担軽減
- 画質改善による診断能の向上
- 高速ワークフローによるルーチン展開
- 患者さんに優しい安心の寝台設計

5 ジェンダー平等を推進しよう

5. ジェンダー平等を実現しよう

法人内託児施設『ピュアキッズ』

白十字会では、職員の仕事と家庭の両立支援のため、職員専用の託児所と病児保育を整備しています。2022年4月に白十字病院敷地内に新築移転した、法人内託児施設『ピュアキッズ』では、新築移転を機に、新たに病児保育室を完備し、体調に不安のある子供を預かることで、当法人内の職員が安心して働きやすい環境づくりに努めています。

通常保育では24時間保育を行い、夜勤などで家庭保育ができない場合も安心して預けることができます。

法人内託児所が整備されている、という強み

法人内に託児所が整備されている最も大きなメリットは、職員の離職率の低下です。子供を預ける幼稚園・保育園がなく、子供の面倒を見られないがために働きたくても離職せざるを得ない、という人が数多くいます。

意欲も能力もある職員が職場を離れてしまうのは、大きなデメリットです。法人内に託児所があれば、安心して働き続けることができ、離職率の大きな低下につながります。職員であれば誰でも預ける事ができるSDGsの取り組みにも当てはまります。『ピュアキッズ』ではハロウィンやクリスマスの年間行事も充実しており、その様子を職員が撮影し法人内のお知らせに掲載することで、園内の様子が伝わり親御さんの不安解消につながっています。お子さんを法人内で見守り、働く職員も癒されています。



ピュアキッズの！お別れ遠足

先日、「お別れ遠足」がありました。病院前の新しい公園で楽しそうに走り回ったり、親御さんが作ったお弁当を美味しく食べている子供達の姿を見て温かい気持ちになりました。



～介護がうまくいかないとき、どうしたらいいの～

ユマニチュード®

認知力を高め、心を通わすケア・コミュニケーション技法

自分の身のまわりのことができなくなり、ご家族がお世話をするとき、それを介護といいます。その介護がうまくいかないとき、どうしたらいいのか途方に暮れることがあるかと思えます。例えば、認知症の方の介護をするとき、日常生活の中で「何度も同じことを言う」「話が通じない」「すぐ怒る」など、そのような時にどう接すればいいのか分からない、そのような不安に「私はあなたの事を大切に思っています」というメッセージを、言葉・表情・態度などで「うまく伝えるための」方法があります。その技法がユマニチュード®です。

ユマニチュード®(Humanitude)とは「人間らしさを取り戻す」という意味をもつフランス語の造語で、フランスの二人の体育学の専門家イヴ・ジネストとロゼット・マレスコッチが開発したケ

アの技法です。介護がうまくいかないとき、その理由は、介護をしている方の優しさとは関係なく、「届け方」に問題があることが多いです。「うまく届けるための方法」を学ぶことで、介護を受け入れてもらいやすくなるかもしれません。白十字病院は全職員でユマニチュード®に取り組み、認知症と向き合っています。



参考している書籍

『家族のためのユマニチュード』  
～その人らしさを取り戻す、優しい認知症ケア～

- 著者：イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッチ、本田美和子
  - 発売日：2019年08月
  - 出版社：誠文堂新光社
- 『ユマニチュード入門』
- 著者：イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッチ、本田美和子
  - 発売日：2014年06月
  - 出版社：医学書院

高齢の母が「ありがとう」と笑顔をくれました  
心を通わせる喜びをユマニチュード®で



全職員でユマニチュード®に取り組んでいます



「ユマニチュード®」の基本的な技術を動画にてご紹介いただけます。ぜひご覧ください。

一般社団法人日本ユマニチュード学会  
ウェブサイト <https://humano.org/>  
※白十字会は、一般社団法人日本ユマニチュード学会の賛助会員です。

スタッフのお気に入り

身近なリゾート「小戸公園」

本年度より広報委員長を任せられた福田です。本号より白十字病院だよりをリニューアルし、年4回皆様にお届けします。白十字病院のことを皆様にお伝えすべく、レイアウトも含めすべて広報委員会が手作りで作成していますのでご一読いただければ幸いです。

本コーナーでは、毎号スタッフの西区糸島地域のお気に入りをご紹介します。今回は、西区にある小戸公園を紹介します。

マリナ通り沿いを走ると駐車場は見えるのですが、公園内のほとんどは道側からみえず、奥に進んではじめて公園の全貌が現れてきます。そこには、広大な敷地内に芝生で整備された広場や散歩道、大型遊具(昨年リニューアル！)、パーベキューエリア(コロナで閉鎖中)、山(小山)、海がそろっており、まるでハワイや以前住んでいた宮古島で遊んでいるかのような気分が味わえます。私はその中でも海に面したエリアが好きで、波音を聞きながら子供が遊具で遊ぶ姿越しに見える能古島や糸島半島を眺めていると、疲れた心身がリフレッシュできます。

公園に行ったあとは、隣のコーナンでDIYショッピングも楽しめます。ぜひ皆様も、良い季節になってきましたので、小戸公園に足を運んでみてはいかがでしょうか。

小戸公園



いいね!

Address: 福岡市西区小戸2丁目6  
URL: <https://www.kankyo-k.co.jp/odopark/>



**福田 健治**  
KENJI FUKUDA  
脳神経外科部長  
兼 脳血管内治療科  
DXセンター副広報委員長  
出身地: 大牟田市  
趣味: 自然散歩、読書/  
家具/アート鑑賞



医療法人政裕会  
**ときつ医院**

診療科: 内科・小児科

小児から高齢者の方まで、地域に根付いた医療と介護の提供を行っています。

〒819-0005 福岡市西区内浜2丁目6-7  
TEL: 092-882-3321

診療時間	月	火	水	木	金	土
09:00~12:00	●	●	●	●	●	●
13:30~17:00	●	●	●	×	●	×

休診日: 木曜午後、日曜・祝祭日



駐車場あり



医療法人社団天佑会  
**きむらしろクリニック**

診療科: 内科・消化器内科・胃腸内科・放射線科

”自宅で自分らしく暮らす”  
自宅まで診療にお伺いします。

〒819-0022 福岡市西区福重5丁目19-8  
TEL: 092-892-4600

診療時間	月	火	水	木	金	土
09:00~12:30	●	●	●	●	●	●
15:00~18:00	●	●	●	×	●	▲

休診日: 木曜午後、日曜・祝祭日 ※▲ 14:00~17:00(予約検査のみ)



敷地内に  
駐車場あり

白十字リハビリテーション病院 リニューアル情報

2022年8月リニューアルオープン！

今夏、白十字リハビリテーション病院がリニューアルオープンします。社会復帰への架け橋となる”ハートフルリハビリテーション”をコンセプトに、地域に根差し、患者さんに寄り添うリハビリテーション(専門)病院を目指します。



許可病床数: 160床

- ・回復期病床: 120床
- ・地域包括ケア病床: 40床

〒819-8611 福岡市西区石丸3丁目2-1  
TEL: 092-891-2611/FAX: 092-891-2633



社会医療法人財団 白十字会  
**白十字リハビリテーション病院**



スタッフの仕事

”やりたいこと”が広報活動につながる

このコーナーでは、毎回スタッフがどのような仕事をしているか自ら紹介するコーナーです。まずは、広報担当から紹介させていただきます。私が白十字病院に広報担当として入職して、今年で3年目になります。入職したての頃は、医療関係に勤めるのも初めてで、前職は流通業チラシ作成、某ホテルで婚礼・宿泊・レストランなどのパンフレットやポスター作成という、主に制作側の仕事をしていたので、表側の広報という実務経験がなく、右も左も

分からない状態でした。これまで私が携わった大きな仕事は「竣工パンフレット」、「病院パンフレット」と「ホームページ」のリニューアルです。ホームページのリニューアルは大変でしたが、その仕事があって、病院の細かい部分まで知ることができ、他職種のスタッフと仲良くなり、今では仕事仲間として同じ目標を共有できています。

普段は職員の事務的な管理をしている総務課に属しており、広報での仕事は主に広報紙や撮影、動画制作、ホームページ、病院全体の広報誌作成やメディア対応、院外広報の管理・調整などを行っています。

他病院や企業の広報と違う点は、院内制作をして、コスト削減とスピード対応しているという点です。この広報誌もデータから作りました。まだまだ勉強不足ですが、私の”やりたいこと”が白十字病院の今後の広報活動につながっていければと思います。



**横川 亜希代**  
ARIYO YOKOGAWA  
総務課 広報係  
出身地: 福岡市西区  
趣味: ドラマ・映画鑑賞、  
(最近は韓国画観てます)

広報担当



いいね!

We work together.

# 外来担当医表

■受診受付時間/8:45~11:30(月~金曜日)

予約 / 予約の変更 / 予約の確認 (月曜~金曜/8:30~17:00)

※時間帯予約制となっております。  
事前に予約受付コールセンターで予約をお願いします。

0120-19-8912 (フリーダイヤル)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金	
内科	内科	午前初診	堤 陽子(福大) (内分泌内科)	有永 豊識 (心臓血管内科)	矢次 博 (呼吸器内科)	牟田 大毅 (糖尿病内科)(第1・3・5週)/ 三戸 隆裕 (心臓血管内科)(第2・4週)	今泉 朝樹 (心臓血管内科)
	糖尿病内科	午前初診	岩瀬 正典	牟田(第1・3・5週)/ 井手(第2・4週)	青谷 領一郎	牟田	井手
		午前再診	岩瀬 正典/ 井手 均/ 牟田 大毅	牟田(第1・3・5週)/ 井手 均(第2・4週)/ 岩瀬 正典/高木 可南子	青谷 領一郎/ 岩瀬 正典/ 井手 均/牟田 大毅	牟田 大毅/ 井手 均/ 高木 可南子	井手 均/ 岩瀬 正典/ 牟田 大毅
	脳・血管内科	午前	徳永 敬介	熊井 康敬	坂井 翔建	由比 智裕	高島 正光
		午後再診		清原 卓也(九大)	熊井 康敬		
	心臓血管内科	午前初診	有永 豊識	松崎 将樹	今泉 朝樹(睡眠時無呼吸)	三戸 隆裕	三戸 隆裕
		午前再診	今泉 朝樹(第1・3・5週)/ 三戸 隆裕(第2・4週)	有永 豊識	三戸 隆裕	松崎 将樹	今泉 朝樹
		午後再診					ペースメーカー
	消化器内科	午前	亀田 昌司/田中 悠花	亀田 昌司/田中 悠花	井浦 登志美/吉田 雄一郎	井浦 登志美/吉田 雄一郎	亀田 昌司
	肝臓内科	午前初診	内田 洋太郎	姫野 修一	内田 洋太郎	梅田 かおる(福大)	
		午後再診					
	腎臓内科	午前	平野 直史	木村 廣志	酒匂 哲平	平野 直史	木村 廣志
		午後再診		松島 怜央(13:00~15:00)			
	呼吸器内科	午前	猪島 尚子		矢次 博		
		午後					
内分泌内科	午前	堤 陽子(福大)				萬代 幸子(九大)	
	午後						
血液内科	再診					中島 勇太(福大)	
もの忘れ外来	午後				入江(13:00~15:00)		
精神科 ※入院患者	午前	平野 羊嗣(九大)		平野 羊嗣(九大)		比嘉 逸人(九大)	
外科	午前	谷 博樹/長野 秀紀	大石 純/室田 昂良	長野 秀紀/山門 仁	谷 博樹	大石 純	
	※測野:第1・3木曜日午後(13:00~15:00)再診のみ						
脳神経外科	午前	林 修司	井上 亨/ 藤原 史明	福田 健治 (脳血管内治療)	神崎 由起	藤原 史明 (脊髄末梢神経)	
	午後再診	竹山 龍平(13:00~15:00)					
心臓血管外科	午前初診		住 瑞木/ 尼子 真生		住 瑞木/ 尼子 真生	森重 徳継(済生会)	
	午前再診						
	午後初診			和田 秀一(福大)			
	午後再診		江石 惇一郎	和田 秀一(福大)/國友 祐希	森重 徳継(済生会)		
乳腺外科	午前	松尾 文恵					
整形外科	午前	小林 和弘/ 平塚 嘉香	阿南 亨弥/ 伊崎 輝昌(福大・肩関節外来)	小林 和弘(膝・股関節外来)/ 橋本 貴美子(福大)	藤原 紘/ 平塚 嘉香	阿南 亨弥/ 藤原 紘	
形成外科	午前	眞鍋 剛	平尾 京子	眞鍋 剛	平尾 京子	眞鍋 剛	
	午前再診	平尾 京子	眞鍋 剛	平尾 京子	眞鍋 剛(第2・4週)	平尾 京子	
泌尿器科	午前	吉田 一博/ 阿部 裕典	江本 大紀/ 阿部 裕典	吉田 一博/ 丸田 紘子(女性泌尿医師)	阿部 裕典/ 丸田 紘子(女性泌尿医師)	吉田 一博/ 江本 大紀	
	午後				羽賀 宣博(福大)		
眼科	午前	藤原 恵理子	藤原 恵理子 ※予約のみ	音田 佳代子(福大)/ 藤原 恵理子※予約のみ	藤原 恵理子 ※予約のみ	池田 文(福大)/ 塩谷 雅(福大)(隔週)/ 藤原 恵理子※予約のみ	
歯科口腔外科	午前・午後	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 近藤 誠二(福大)	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 眞野 亮介(福大)	嶋村 知記/青柳 直子/ 石田 晋太郎(福大)/ 豊福 明(東京医科歯科大) ※第2週のみ	
皮膚科 ※入院患者	午後					清水 裕毅(福大)	